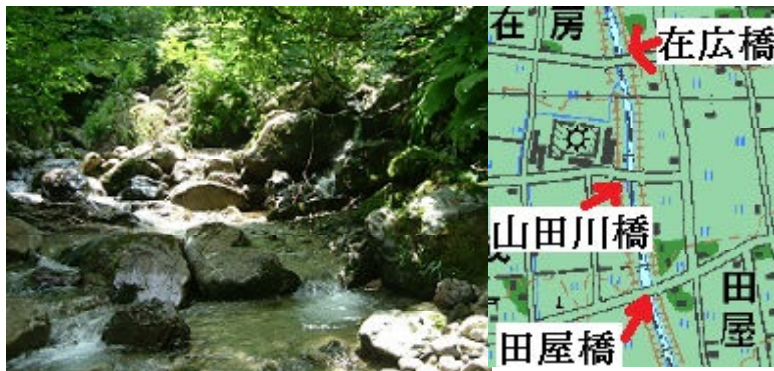


山田川(南砺市)の特徴

山田川は、南砺市南部の袴腰山(1163m)を水源として、旧城端町を北上し、旧福光町と旧井口村、旧福野町の境を流れ、旧福野町西部の川崎橋で小矢部川に合流します。川筋は河川改修による堤防でしっかりと固定されていますが、一定の川幅があるため、その幅の範囲で蛇行が見られ、小規模ながら、川原も観察できます。大規模な学校の観察には、必ずしも適しているとは言えませんが、田屋橋から在広橋にかけては河川敷へ降りやすい場所もあり、中流の特徴を示す川の観察や、流速のちがいを調べる実験もできます。また、春から梅雨前にかけては、水につかった礫の裏に生息する水生動物の観察もできます。



田屋橋から下流方向を見る(矢印の場所が階段になっているため、河川敷へ降りやすい)



在広橋から上流(遠くに見える橋は、山田川にな橋)方向を見る(矢印の場所が階段になっているため、河川敷へ降りやすい)



在広橋から下流方向を見る

